

企画展

入場無料

平成18年
12月9日(土)

平成19年 ▲
2月25日(日)

何回も見たことある風景。
の、はず。
なんだけど...

地球観測衛星の魅力

パノラマにっぽん

※この地図の作成に当たっては、
国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図250mメッシュ(標高)を
使用したものである。
(承認番号 平18総使、第369号)

問題:これはどこから見たどの景色でしょう?
(答えは裏にあるよ。)



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL:0465-21-1515 FAX:0465-23-8846
<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>
e-mail:plan@nh.kanagawa-museum.jp

主催:神奈川県立生命の星・地球博物館 協力:京東日本横浜支社小田原地区 小田急グループ

休館日		
毎週月曜日(1/8-2/12は開館)、 12/29(金)~1/3(水)、1/9(火)		
入館料		
	企画展	常設展
65歳以上	無料	無料
20歳以上		510円
20歳未満・学生		300円
高校生以下		無料

交通案内	
電車	箱根登山鉄道 (小田急線乗り入れ) 入生田駅下車徒歩3分 国道1号線
お車で	「地球博物館前」交差点 (歩道橋に表示あり)入る
開館時間	
9時~16時30分 (入館は16時まで)	



企画展

入場料 無

パノラマにつぼん

地球観測衛星の魅力

平成18年
12月9日(土)
平成19年
2月25日(日)

「パノラマ」と聞いて、
どのようなイメージを思い浮かべますか？
山の頂上に登ったとき目の前に広がる光景ですか。
「360度のパノラマ」、「パノラマカー」という言葉もあります。
いずれも展望を売りにしたものです。
左右に広がるワイドな景色のことを
思い浮かべる方が多いと思います。

「パノラマにつぼん」では、
地球環境を調べている人工衛星「地球観測衛星」が
観測したデータを使って、地形などの地面の様子を
わかりやすいようにコンピュータ処理した画像を紹介し
ます。高さや位置の関係をつかみやすいように立体化した鳥瞰図や、
赤青の色メガネをかけると飛び出して見える余色立体図など、
いろいろな画像で、につぼんを見てみましょう。

あなたのいるところの広さを知っていますか？
まわりはどうなっていますか？山や海は近いですか？
そういうこともこの展示で見えてくるはずです。

おもな展示

1 飛び出せニッポン 「南アルプスから関東平野」

4×3mの大きな地図です。
赤青の色メガネで見ながら
この地図の上を歩くと、
飛びだしてくる地形に驚かされます。



2 宇宙から見る

地形のデコボコや地面の様子がわかる、衛星画像を
使った鳥瞰図「宙瞰図」や、赤青メガネをかけると
地形が飛びだしてくる「余色立体図」で、特徴ある
日本各地を紹介します。

例えば ▶ 襟裳岬、日本アルプス(フォッサマグナ)、
中央構造線、阿蘇など

3 地球を調べる

地形や地面の様子を調べる方法として
リモートセンシングの仕組みと特長を
紹介します。

例えば ▶
画像解析方法、鳥瞰図作成方法の解説、
余色立体図の作成方法の解説など

関連行事

- ◎ 展示解説
12/9(土)、1/8(月・祝)、1/27(土)、2/25(日)
(各日11:00～、13:30～ 30分程度)
- ◎ 講座
2/10(土)「コンピュータで地球を見る」(事前申し込み制)



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499

TEL:0465-21-1515 FAX:0465-23-8846

<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>
e-mail: plan@nh.kanagawa-museum.jp

※詳しくは当館ホームページまたは右記までお問い合わせください。

表の答え：神奈川の東方1,200km離れた太平洋上の上空480,000mから見た「神奈川から四国(中央構造線)」でした。